



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

上田由美子市議の予算特別委質問 (2)

避難所運営へ女性の参画を

防災担当に女性職員の配置を

「上田市議」 能登半島地震では、小矢部市でも避難所が2カ所開設され、市民交流プラザでは365人、津沢コミュニティプラザでは80人が避難された。運営した市職員のみなさんの奮闘に敬意を表する。

ところで、今後の災害時の避難所開設にあたり、運営を男女共同参画で行うこと、また、女性の視点を持つことが重要だ。昨年5月の内閣府の調査では、全国の市区町村の防災や危機管理局の担当職員に占める女性の割合は1割であり、61・1%の市町村では担当職員に女性を置いていなかった。小矢部市ではどうだったか。

「総務部次長」 現在、小矢部市では防災担当に女性職員を配置していない。しかし、今回のような大規模災害の対応は、防災担当だけでなく総務課全体行うことになっており、総務課では3名の女性職員が在籍している。また、大規模災害時に備えて、庁舎内の連携を図るため、防災危機管理班があり、ここにも女性職員を1名配置している。

備蓄品の準備に女性の視点を

「上田市議」 女性の視点としては、外から見えないように着替えの場所を作ること、備蓄品に女性が主に利用するもの、育児や介護に必要なものを加えることだ。

防災関連部署の女性職員や地域防災計画作成に携わる地方防衛会議の女性委員割合が少ない自治体では、女性用品や介護用品の備蓄が少ない傾向があった。

例としては、生理用品はもちろんだが、おりものシート、防犯ブ

ザー、女性用や女児用下着、乳児用おしりふき、尿取りパッド、介護用おしりふきなどである。

宗教に配慮した食べ物も必要だ。

小矢部市では、女性の視点で着替え用テントや備蓄品が用意されているのか。

「総務部次長」 避難所運営など防災事務おけるに女性の視点は重要だ。本市では、女性防災士の育成に力を入れている。市防災士連絡協議会を通じ、女性防災士の意見を参考にするなど様々な手法で女性の視点を取り入れていく。

平成28年3月に作成した、市の避難所運営マニュアルでは、女性のプライバシーへの配慮として、女性専用の更衣室、授乳室、洗濯室、洗濯物干し場、洗面所を作ることになっており、そのためのプライベートテントは15張り設けている。

女性のニーズを把握するため、自主的に行う避難所運営委員会に女性が参画することが重要である。

備蓄品について、生理用品は2万1千個備蓄している。しかし、防犯ブザーなどその他の指摘された物については、備蓄していない。今後いろいろな方の意見をふまえ、令和6年度にはそれらの方々に対応できる備蓄の整備拡充に努めていきたい。

地震国イタリアのように国の責任で

トイレ、簡易ベッド、テント、キッチンカーなど

「上田市議」

地震国イタリアでは、常設の「市民安全省」が設置されている。地震が起きるとただちに、トイレや簡易ベッド、テントが設置され、国の支援でキッチンカーやトイレ、シャワールのコンテナが用意されている。日本でも、国が責任を持って避難所の快適さを実現するよう求めていく必要がある。



おやべあちこち

新婦人小矢部支部の企画で3月5日、『臨床美術』の活動を行いました。テーマは「桜屏風」。桜の風景を思い浮かべながら、春らしい屏風を作りました。会員、読者、その家族などに参加を呼びかけ10人が集まって、楽しく活動しました。

いろんな風景の桜の写真を楽しみ、春らしい音楽の中で、墨、アルミホイルなど、面白い素材を使いながら幻想的な桜を作りました。「地震から心がざわざわして、ちよっとした音や動きにビクビクして落ち着かなかった

けど、これに取り組んでようやく心が落ち着いていた」という参加者の声が聞かれました。最後に、一人ひとりの作品をみんなで鑑賞し、同じ素材で作った作品なのに、それぞれの個性や思いがでていることに、感動と充実感を得ることができました。

指導していただいた臨床美術の指導の方は「高齢者の施設でよく取り組みますが、ジャズなどを聴

いてどんなにご高齢でも自由に生き生きと表現されますよ」と、うまい下手ではない楽しさを教えてくださいました。季節をじっくり味わいながら、また、会員や読者の皆さんと楽しみたいと思っています。

また、子どもから高齢者まで、一緒に取り組める活動なので、アートハウスおやべなどでも、市民向けにやっていただければと期待します。



解説 臨床美術とは

アート作品を作ることで、脳の活性化と心の解放を促し、認知症予防や維持改善、また子どもへの感性教育や自己肯定感の醸成、クリエイティブシンキング(枠組みに関係なく自由に発想すること、楽しさやノリ、直感性を大事にします)などにも効果が高いとされています。

臨床美術士は、臨床美術を実施するための知識と技能を習得した専門家で、保育や学校、医療や介護の現場などで活躍しています。2面にアートハウスおやべ建設にあたって「臨床美術」の大切さを議論した市議会報告の『週刊明るい小矢部』2012年9月2日号を再録します。



「臨床美術」を 楽しみました!